

# 矢 榛名荘病院 携 療連だより

Harunaso Hospital

第3号  
季刊発行



企画発行：榛名荘病院医療連携室  
〒370-3347 群馬県群馬郡榛名町中室田5989  
<http://www1.newweb.ne.jp/wa/haruna/>

日本医療機能評価機構認定病院

## 榛名荘病院の基本理念

- 一、生命を尊重し、安全で良質な医療を提供します。
- 一、患者様の意志と権利を尊重します。
- 一、医療技術向上のため、研鑽に努めます。
- 一、地域の医療、福祉のために寄与します。

## インタビュー！健康管理センター

### 健康管理センターの取り組みについて

榛名荘病院の集団健診の歴史は古い。昭和初期、結核撲滅のため遠くは粕川村まで連日各地を駆け回り、年間約4万1千人の結核検診を実施し、多くの結核患者発見に努めたという。本号では健康管理センター金澤課長に取り組みについてききました。

健康管理センター  
健康管理課長 診療放射線技師  
金澤 利彦



#### Q. 健診事業はいつから行っているの？



『榛名荘六十年史』より

昭和初期に国民病として蔓延していた「結核症」の撲滅を目指し、昭和32年、可搬型のX線装置を購入し、学童や住民を中心に県内外を巡回する結核検診が開始されました。以来、約半世紀にわたり「健康増進と福祉の向上に貢献すること」を目的に、各種保健事業を推進してまいりました。

昭和50年には、胸部X線検診車を導入し、本格的な巡回検診を開始。その後、結核検診中心の時代から生活習慣病を中心とした予防医学・健康医学への変革を迎え、昭和62年2月にはしばらく休止していた人間ドックを再開しました。平成元年3月には、循環器検診車を導入。以降、骨密度測定車・胃部X線検診車などを整備し、疾病の早期発見・早期治療、さらには健康増進のための保健事業へとその充実を図ってまいりました。

#### Q. 現在の取り組みは？

検診車による巡回健診を中心に、年間約5万件の健康診断・人間ドックを実施しております。

巡回健診は1日1～3班を編成し、各担当者は定期的な研修を行い、正確で手際のよい健診を行えるよう日々努力を重ねております。検査結果については、ダブルチェックを行い、さらに自動判定に頼るだけでなく、既往歴・自覚症状・過去の検査結果などをもとに、受診される方一人ひとりに合わせた診断結果を出しております。

また、人間ドックは1日3名までとし、受診当日に医師による結果説明を実施。さらに、必要に応じて当日に精密検査（保険診療）も行っており、個人を重視した対応も好評で、受診される方も年々増加してきております。

現在では、他の医療機関からの依頼による巡回健診も増加してきております。

## Q. どんなサービスがありますか？

検査項目・実施方法・受診される方の要望など、その都度検証を行いながら、より高度なサービスが提供できるよう日々取り組んでいます。学会・研修会への積極的な参加や勉強会の開催などにより、技術・精度の向上に努めており、健康関連事業へのスタッフ派遣も増加しております。

近年、大腸がん検診や前立腺がん検診の実施は増加傾向にあり、また去年は新たな試みとして、2,265件のペプシノゲン法による胃検診を実施しました。現在、その追跡調査を行っているところです（現在までに把握できた数は、胃がん2名、がん以外の胃疾患176名となっております）。さらに今年度からは、腹部超音波検査を導入し、二次健診等の充実に取り組み始め、人間ドックにおいてもオプション検査の充実を図り、希望により様々な検査が受診できるよう体制の強化を図りました。

また、健康情報の提供と合わせ、各個人に合った適切な相談・指導ができるよう新たな試みも始め、運動指導や歯科衛生に関しても準備を始めたところです。

なお、健康増進法と関連し、母子保健・学校保健・職域保健・地域保健の一貫性に関する問題も提起されており、また一次予防から事後指導までの継続した保健事業のあり方も問われており、抜本的な事業見直しも今後の課題となっております。



健康診断をはじめとする保健事業への要望は、日々大きくなってきております。受診される方の満足度は、ご自身の健康への関心の向上、そして健康管理・健康増進に大きく影響を及ぼすと考えております。満足していただけるサービスの提供ができるよう、苦情・要望等を謙虚に受け止め、接遇にも十分配慮し、受診される方との信頼関係を基軸に、今後もより良い保健事業の実践を目指していきたいと考えています。

また、この職場で懸命に働く職員の資質・技術・能力そして意欲も高まってきており、さらなる飛躍へ向け前進できるものと考えております。

## Topics

### 「もの忘れ検診」がテレビの取材を受ける



この検診は群馬県が全国に先んじておこなっていますが、県内でも榛名町が最大規模で行っていることから注目されました。9月9日のNHK「難問解決 ご近所の底力」(夜9:15~9:58)で検診の様子が紹介される予定です。

### 健康管理センター、慶應義塾大学と共同で倉淵村健康調査を開始

榛名荘病院健康管理センター（金澤利彦課長）は、このたび慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室と共同で倉淵村における縦断的健康調査を7か年計画で開始することになりました。これは、村民が健康で元気に成長し年齢を重ねるための生活習慣の改善支援方法を確立することを目標としています。

院内では健康管理センター、総合リハビリテーションセンター(新谷和文課長)と協力しながら行っています。

この健康調査は、厚生労働省研究費と文部科学研究費に基づくものです。

## ● 健康管理センター事業内容



### ①主な事業内容

#### a. 地域保健に関する事業

基本健康診査／婦人の健康診査／骨密度測定／結核検診  
大腸がん検診／前立腺がん検診／もの忘れ検診 など

#### b. 産業保健に関する事業

定期健診／雇入時健診／生活習慣病健診／有機溶剤健診  
鉛健診／特定化学物質健診／電離放射線健診／じん肺健診  
特殊健診／胃がん検診／大腸がん検診／骨密度測定  
スタッフ派遣（産業医・事後措置・相談指導） など

#### c. 学校保健に関する事業

一般健診／結核検診／予防接種 など

#### e. 人間ドック（日本病院会指定人間ドック優良施設）

### ②検診車両・機器類

胸部X線検診車2台／胃部X線検診車1台／循環器検診車2台  
骨密度測定車1台／心電計3台／眼底カメラ2台  
超音波診断装置1台 など

### ③職員構成（非常勤含む）

医師1名／保健師2名／看護師12名／事務4名  
診療放射線技師4名／臨床検査技師5名……計28名



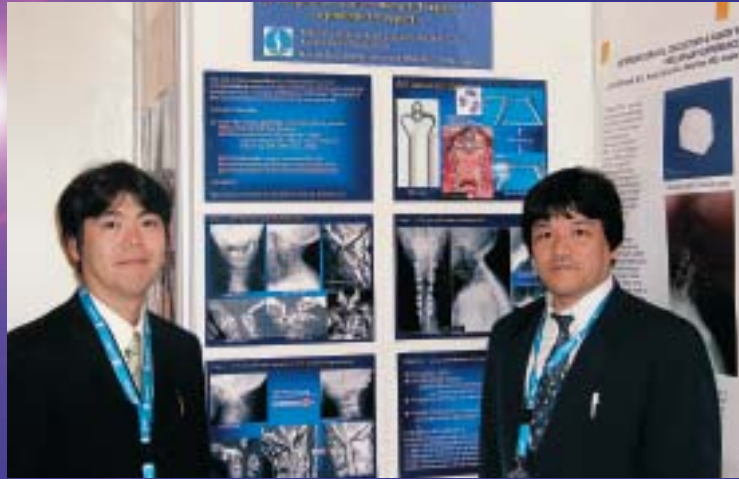
お問い合わせ

健康管理センター TEL 027-374-1135  
(内線323)

# CSRS-E (=Cervical Spine Research Society European section)

## SPINWEEK 2004

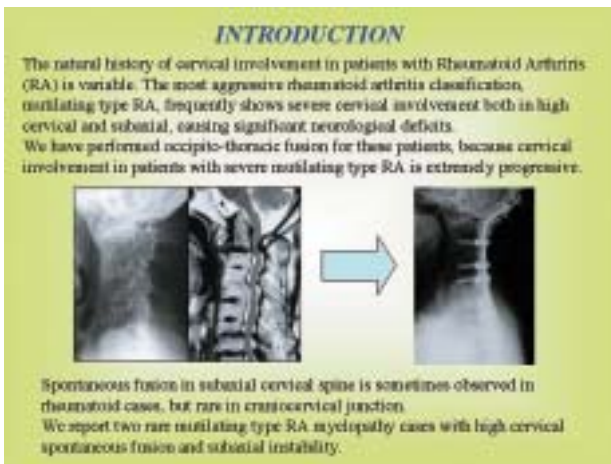
CSRS - E (=Cervical Spine Research Society European section) が2004年5月31日～6月1日ポルトガルのポルト市にて開催された。  
群馬脊椎脊髄病センターの清水センター長と田内医師は演題採用され発表を行った。



発表ポスターの前に立つ田内医師と清水センター長

### Cervical myelopathy due to subaxial subluxation in mutilating rheumatoid patients with spontaneous fusion of occipitoatlantoaxial joint complex report of two cases

田内医師はめずらしい病態を呈した関節リウマチによる頸椎病変の2症例を報告。



### RRS loop spinal system ; A new Fixation Device for Occipito-cervical or-thoracic Fixation (a preliminary report)

清水センター長は自ら開発した後頭骨頸椎・胸椎固定術用のインプラント (RRS loop spinal system) の使用成績を発表。



## CSRS=Cervical Spine Research Society



頸椎外科の分野では国際的にもっとも権威ある学会。他に USA sectionがある。この学会の正式メンバーに選ばれること、また、演題採用され発表すること、いずれも大変名誉なことである。清水センター長は正式メンバーであると同時にこの学会の日本代表を務めている。

# 第33回日本脊椎脊髄病学会



第33回日本脊椎脊髄病学科が6月8日、9日、10日の3日間、東京都内のホテルで開催された（会長伊藤達雄氏）。昨年より日本整形外科学会に認定脊椎脊髄病医（登録2742名）、そして本学会でauthorizeする脊椎脊髄外科指導医制度（登録925名、本年3月現在）がスタートしたことによりspine surgeonの確立、育成と充実に大きな歩みを踏み出した重要な時期である。こういった重要な時期であることから学会テーマは「Spine Surgeon Now and Then」とされた。

清水センター長は、国内はもとより海外からも招かれた著明な脊椎外科医らと共にシンポジストに指名され、関節リウマチの頸椎手術の国内第一人者の立場から上位頸椎の手術に関して討論を行った。

また、一般演題ではセンター長が自ら開発した後頭骨頸椎・胸椎固定術用のインプラント（RRS loop spinal system）の使用成績を発表した。



Dr.Grobの招待講演に対して学会を代表し感謝状を送る清水センター長

## Dieter Grob 教授

国際的に大変高名な脊椎外科医。スイス人。スイスの有名な病院シュルテスクリニックに所属。清水センター長はGrob教授のもとに留学していた。そこで学んだことが今日のセンター診療に息づいている。



今回、日本脊椎脊髄病学会に招かれ来日、清水センター長と共に上位頸椎手術のシンポジウムに参加。

大変名誉なことに当センター、当院を訪問。清水センター長以外の医師もGrob教授に接し、その素晴らしい業績だけでなく温かいお人柄に触れることができ、感激。今後、当センター医師の留学受け入れを御快諾いただき帰国された。

### 群馬脊椎脊髄病センターの医師

- 前列左 笛木敬介副センター長
- 前列右から2番目 清水敬親センター長
- 前列右 井野正剛 医師
- 後列右から2番目 登田尚史 医師
- 後列右 田内 徹 医師



群馬県内の脊椎外科医たちとDr.Grobを囲んで

## 県内初の「摂食・嚥下機能療法外来」を設置

病気や障害のため、食べ物をうまく飲み込めない「摂食・嚥下（のみくだし）機能障害」に対応するため、2004年4月、群馬県内では初めてとなる「摂食・嚥下機能療法外来」をはるな脳外科（院長 野尻 健）で開設いたしました。

はるな脳外科では、従来から「急性期からリハビリまで」の一貫した医療体制を整えております。リハビリテーションでは、脳血管障害の患者に対する機能訓練として運動障害や言語障害だけでなく、飲み込み障害の発症後の早期訓練を行ってまいりました。

摂食・嚥下機能障害は、チーム医療で対応します。その際、主治医が最終責任者となり、歯科医師がコーディネーターという立場で言語聴覚士、看護師、作業療法士、理学療法士、栄養士等の専門家が協力して対応します。摂食・嚥下障害の治療には口腔ケアから始まり栄養管理、褥瘡（床ずれ）等、さまざまな対策がからむため、専門家間での情報交換や連携が重要となります。

高齢者の肺炎死亡の大半は誤嚥に基づくものと考えられています（嚥下障害によるもの）。しかし、現実には食べ物がのどにつかえる、飲み込みにくいなどの嚥下障害は病気と認識されず軽視されてきました。嚥下ができなければ、経管栄養か胃ろうが一般的でしたが、当財団では患者様のQOLを考えた医療を提供するため「安全に、楽しく、おいしく」をキーワードに「さいごまで自分の口で食べよう」を提唱してゆきます。



「摂食・嚥下機能療法外来」担当の山川 治 歯科医師

摂食・嚥下機能療法外来では、脳血管障害の後遺症をはじめ、筋・神経疾患、口腔領域の癌、知的障害の患者にみられる摂食・嚥下障害をチーム医療で「治療と生活の支援」を行ってゆきます。在宅介護指導としては、窒息を防ぐ食べさせ方・食事の形態（嚥下食）等のフォローアップ、さらにフォローアップした患者の摂食・嚥下機能の再評価も行います。

当財団での将来展望： 「外来でのフォローアップ」→「在宅治療」→「訪問看護」→「配食サービス」

榛名荘病院（院長 津久井知道）における「摂食・嚥下リハビリテーション」の取り組みは、入院患者・在宅介護支援として1年半を経過しております。現在、他の医療機関からの依頼を受け講演を開催中です。



受付の清水直子・林阿紗子です

**はるな脳外科**  
**摂食・嚥下機能療法外来**

木曜日午前9:00～12:00 **要予約**

TEL 027-343-2220

高崎市上豊岡町827-1

## 前橋赤十字病院NST嚥下チームが当院を見学

7月23日、前橋赤十字病院でNST活動を行っている歯科医師、ST、歯科衛生士、看護師のみなさま7名が当院の摂食・嚥下障害に関する取り組みについて見学に来られました。

榛名荘病院で実践している①嚥下食の「検食」（嚥下訓練食の実際について：栄養課）、②VF（ビデオ嚥下造影検査による摂食・嚥下障害の診断と評価について：放射線課）、③口腔ケア（口腔内ケアの実際：療養型病棟）を見学され、その後、会議室において摂食・嚥下機能障害におけるチーム医療等について質疑応答が行われました。



検食



VF見学



口腔ケア



質疑応答

## 榛名荘病院 総合リハビリテーションセンター

### 新谷 和文 課長 群馬大学医学部保健学科臨床助教授に任命される



総合リハビリテーションセンターの新谷課長が、平成16年5月16日付で群馬大学医学部保健学科臨床助教授に任命されました。

新谷課長は、以前より同大学医学部保健学科の卒前学生を榛名荘病院において臨床実習の受け入れをしています。さらに、平成16年度より同大学の卒業後研修制度の実施、同大学非常勤講師を務めています。

#### 新谷和文（あらかずふみ）

昭和62年3月	群馬大学医療技術短期大学部理学療法学科卒業
昭和62年4月	多野総合病院（現藤岡総合病院）勤務
平成6年4月	榛名荘病院勤務
平成15年3月	群馬大学大学院医学系研究科保健学専攻修士課程卒業
平成15年4月	群馬県理学療法士会学術局研究部長
平成16年5月	群馬大学医学部保健学科臨床助教授



歩行練習風景

## 病院を訪れるみなさまに癒しと安らぎを…財団法人榛名荘 「第1回植樹祭」開催

4月24日、第1回植樹祭を榛名荘病院施設周辺で開催しました。

植樹祭では、ナラ・モミジ・ヤマボウシ、日本原生のシイ・タブ・カシ等1, 600本の苗木が「ぐんま森林インストラクター会（会長 田中洋助氏）」会員の指導のもと、一般公募のボランティア360余人のみなさんの手により、一本一本大切に植えられました。苗木の横に打つ記念モニュメントの杭（くい）には、自分の名前や好きな言葉をつづっていただきました。

植樹祭終了後、いしざかびんがさんによるミニコンサートや、軽食サービス・竹炭のプレゼント（職員の手作り）を行いました。

「自然と人とが共生する環境づくり」の取り組みは、私たち財団の基本理念「生命の尊重」に基づくものです。今春多くの方々から共感を得られたことから、自然と人との融合を目指し、来春も「緑のボランティア」を募り植樹活動を行ってゆきます。



# 榛名荘病院外来診療担当医師表

■ 午前のみ ■ 午後のみ

科 目	月	火	水	木	金	土	診察室番号
一般内科	AM 三浦	AM 津久井	AM 宮口	AM 津久井 PM 相原	AM 津久井 PM 三浦		3(1)
外科	AM 水口	AM 多胡	AM 多胡	AM 水口	AM 水口	AM 多胡	8(7)
整形外科		AM 群大		AM 群大		AM 群大	5(3)
神経内科		AM 鈴木					7
呼吸器科		PM 道又 2:00~3:30					1
消化器内科	AM 多胡			AM 宮口			3・1
循環器科					PM 町田		1
糖尿病外来						AM 伴野	3
心臓外来						AM 群大2内	1
神経科		AM 大森					神経科室
皮膚科			PM 群大				1
婦人科	第3月曜日 AM 群大						婦人科室
眼科			第1・3水曜日 PM 得居 2:00~4:00		第2・4金曜日 PM 高橋		眼科室
耳鼻科		AM 群大	AM 群大 PM 群大		AM 群大	AM 群大	耳鼻科室
歯科	PM 神野		PM 狩野	PM 根岸			歯科室

## ごあいさつ

猛暑いかがお過ごしでしたか。『医療連携だより』第3号です。

健康管理部門、脊椎脊髄病センター、リハビリ部門のご紹介と財団の環境保護の活動についてお知らせします。

疑問・質問を気軽にお寄せください。

医療連携室長 津久井 知道



- ・ 午前的一般外来の受付時間は午前8時30分～午前11時30分です(診察開始は9時です)。
- ・ 午後的一般外来の受付時間は午後1時30分～午後5時です(診療開始は2時です)。
- ・ 休診日は、土曜日の午後、日曜日、祝祭日、年末年始です。

人間ドックご予約は 027-374-1135(代表) 内線222番までご連絡ください。



● 医療連携室受付時間  
平日 午前8:30～午後5:30  
土曜日 午前8:30～正午

● 医療連携室直通電話  
**027-374-2895**  
**0120-287226**

● 直通FAX  
**027-374-2896**

● メールアドレス  
haruna-renkei@r8.dion.ne.jp

### ごあんない

榛名荘病院へはJR高崎駅から車で50分、JR長野新幹線安中榛名駅から車で15分。はるな脳外科・あけほの苑高崎・群馬脊椎脊髄病センターへはJR高崎駅から車で30分、これらの施設から榛名荘病院まで車で20分です。

